

石巻港港湾計画 —改訂—

平成17年 3月22日
交通政策審議会
第13回港湾分科会

資料6-3



石巻港港湾計画の方針



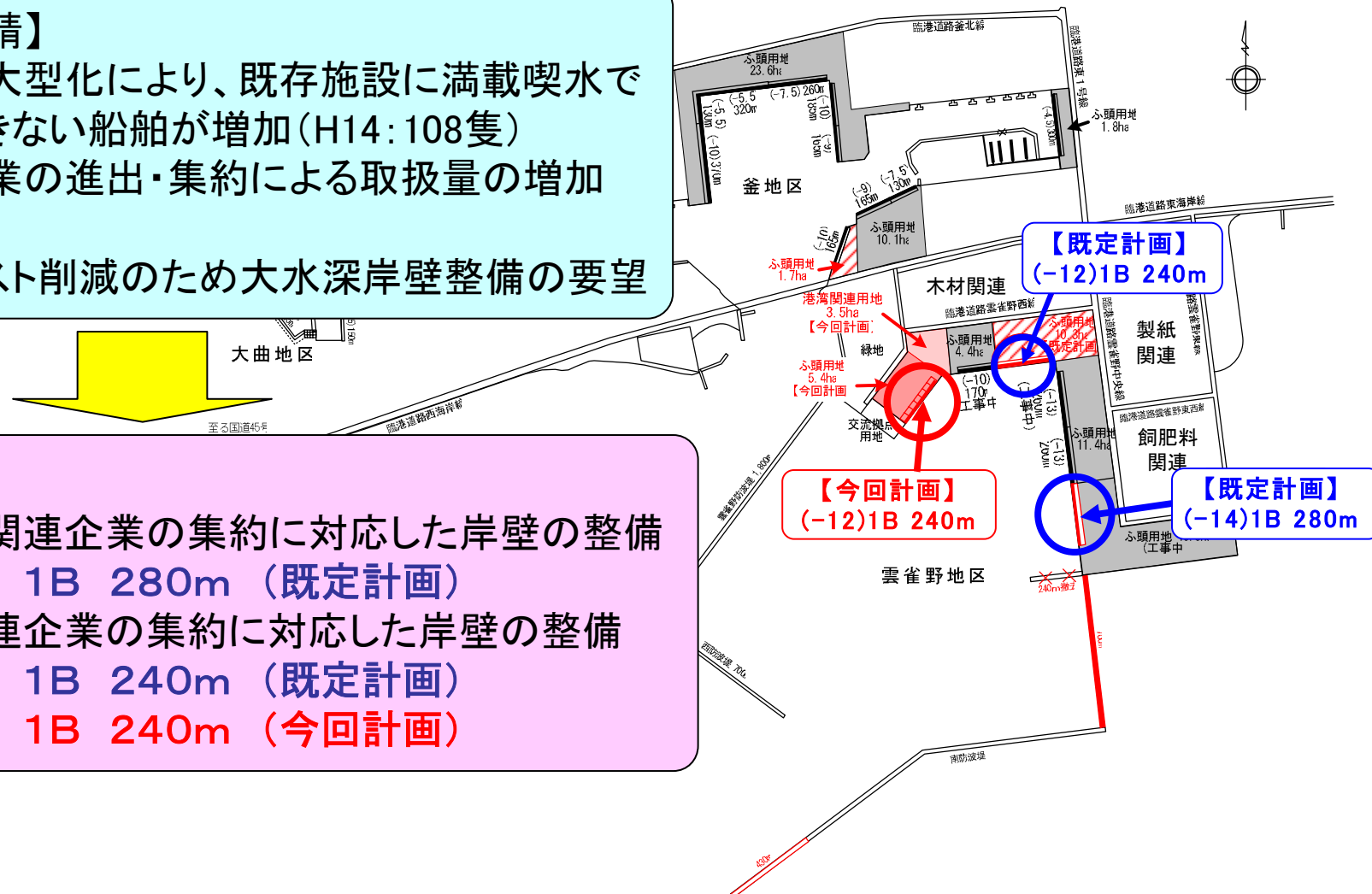
1. 産業競争力の強化を支援する 物流機能の強化

【背景・要請】

- 船舶の大型化により、既存施設に満載喫水で入港できない船舶が増加(H14:108隻)
- 背後企業の進出・集約による取扱量の増加見込み
- 輸送コスト削減のため大水深岸壁整備の要望

【対応】

- 飼肥料関連企業の集約に対応した岸壁の整備
—14m 1B 280m (既定計画)
- 木材関連企業の集約に対応した岸壁の整備
—12m 1B 240m (既定計画)
—12m 1B 240m (今回計画)



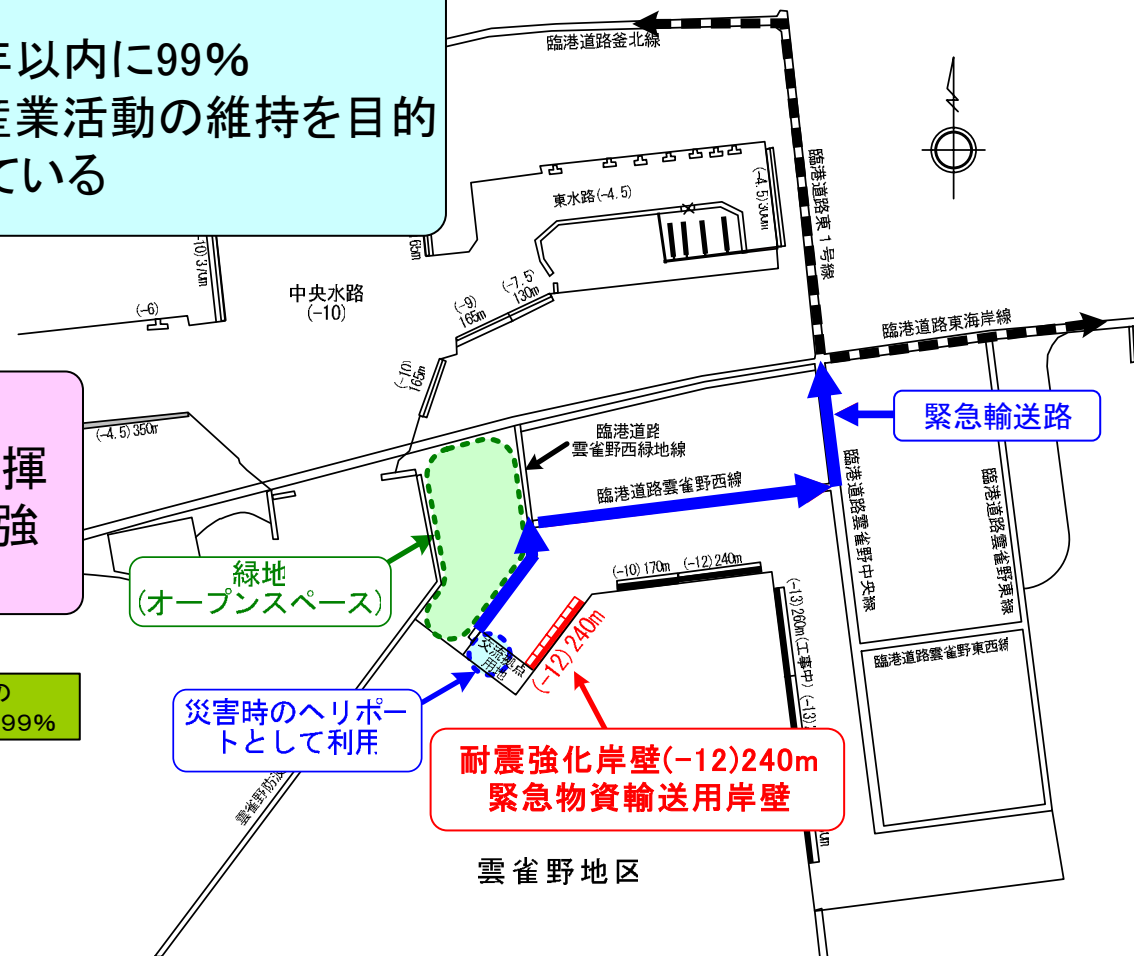
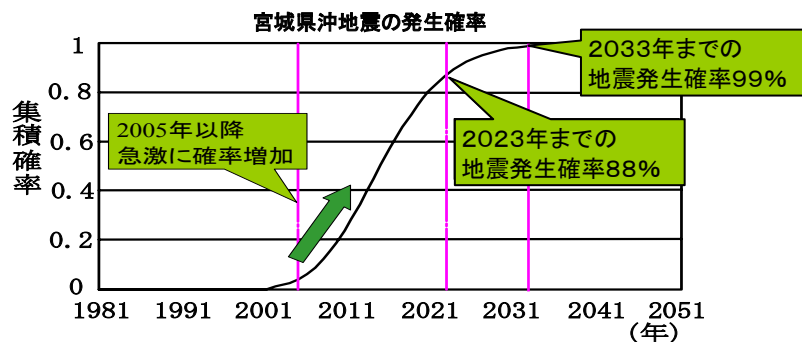
2. 災害時の緊急避難及び 緊急物資輸送機能の確保

【背景・要請】

- 宮城県沖地震の発生確率が30年以内に99%
- 地域住民の生活の安全確保や産業活動の維持を目的とした防災機能の強化が望まれている

【対応】

- 早期整備及び機能を最大限に発揮するため、水深-12m岸壁を耐震強化岸壁として整備を図る

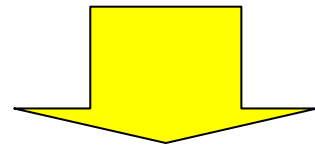


3. 港内静穏度の向上

【背景・要請】

ひばりの

- 平成10年に雲雀野中央1号岸壁を供用開始したが、太平洋側特有の長周期波による荷役障害が発生
- 安全・安心に荷役ができるよう早急な防波堤の整備が望まれている

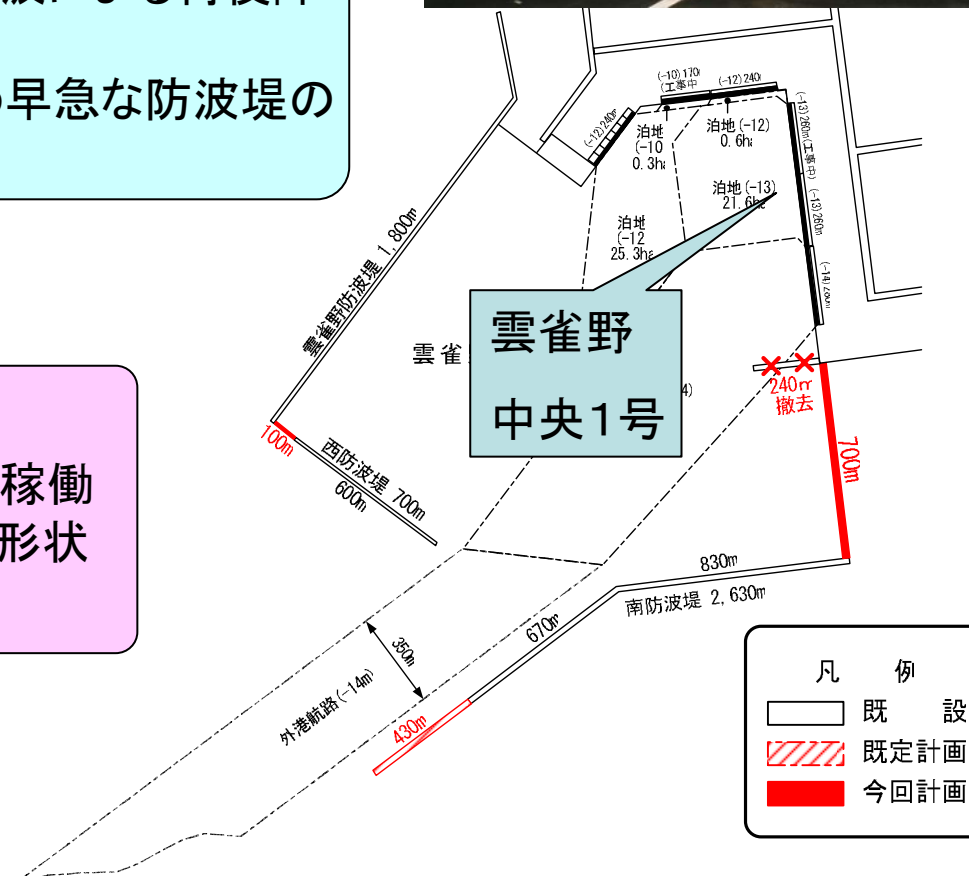


【対応】

- 風波・長周期波に対する荷役稼働率を確保するため、防波堤の形状を変更する



雲雀野中央1号着岸状況



4. 臨港交通体系の強化

【背景・要請】

- 石巻港の東西を結ぶ道路としては臨港道路釜北線(4車線道路)が主に利用されており、一般車両も通行するため混雑している
- 港湾と高規格幹線道路間の交通アクセスの強化が要望されている

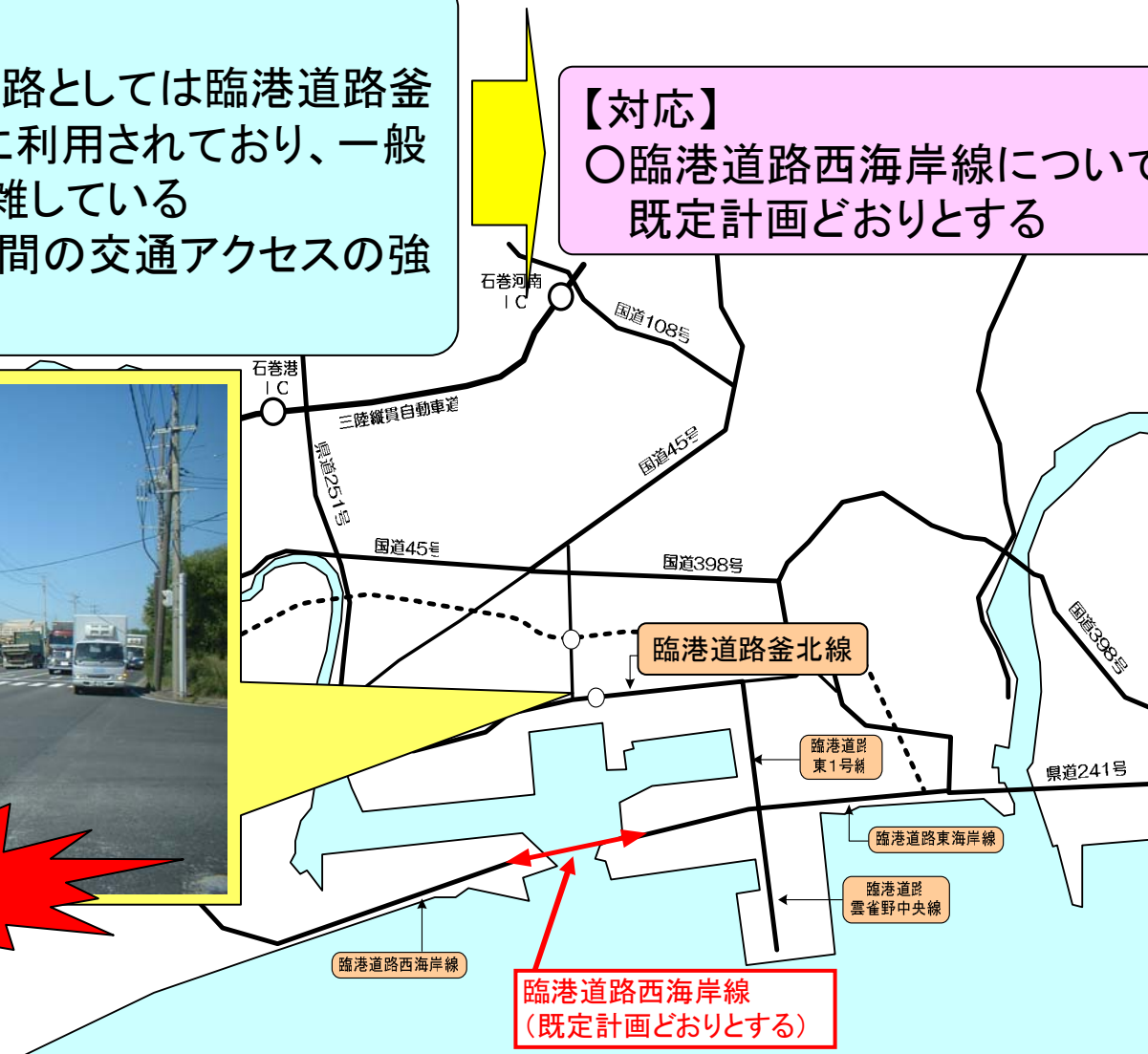
【対応】

- 臨港道路西海岸線については既定計画どおりとする



臨港地区釜北線

混 雑



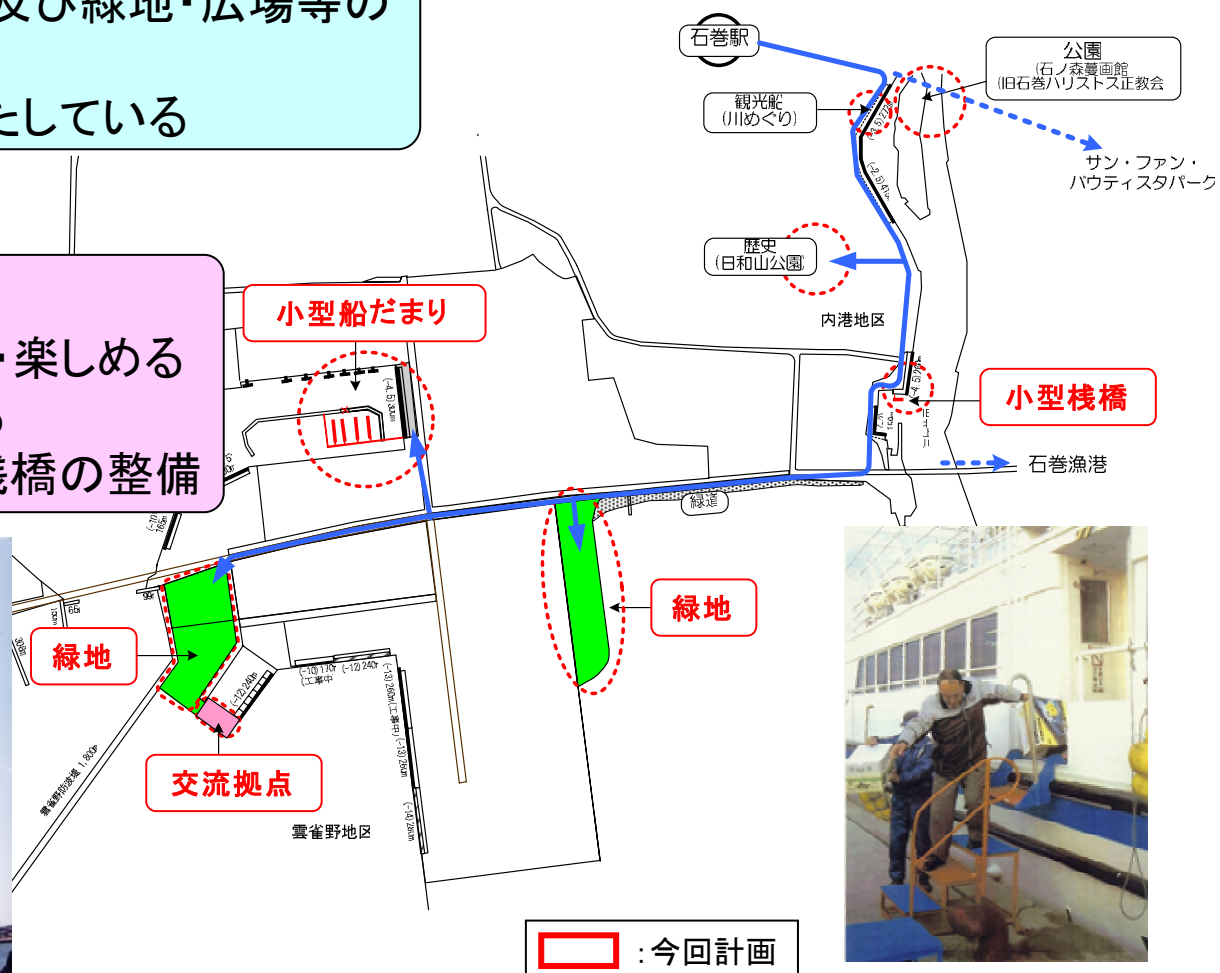
5. 賑わいのある港まちの再生

【背景・要請】

- 市民が憩い・楽しめる空間がない
- 市民等から水際線の開放及び緑地・広場等の整備が望まれている
- 旅客船の乗降に支障をきたしている

【対応】

- 雲雀野地区に市民が憩い・楽しめる緑地、交流拠点を確保する
- バリアフリーに対応した小型栈橋の整備



6. 放置艇の適正な収容

【背景・要請】

- 港湾区域内には116隻の放置艇が点在
- 既定計画でマリーナの位置づけを行ったが整備には至っていない

【対応】

- 利用が低下している水面貯木場の再編・有効活用による整備を図る

